

委員会 レポート

委員会活動として、閉会中に行った所管事務調査の結果内容を、各常任委員会は第6回定例会において、次のとおり報告しました。

総務文教常任委員会

委員長 橋本晃明

調査事項

教育施設の現状と本町独自の取り組みについて

調査の結果

本町の4小中学校を訪問し、学校概要及び特色ある教育活動の説明を受けるとともに、学校施設見学、授業参観を行った。学校施設は、耐震二次診断調査を御影中学校、清水小学校、清水中学校で本年度及び来年度に実

施することになっている。

◆清水小学校

生活集団・学習集団の一体化をめざした「少人数学級」の充実、就学前教育との連続性を重視した「幼保・小連携」事業の推進、地域の教育力を活用した各種「学校支援ボランティア」等の特色ある取り組みが行われている。少人数学級並みの規模



御影小学校にて

をいかして、保護者や地域の信頼に応える教育活動の展開、子ども一人ひとりの教育的ニーズに

じた特別支援教育の充実等、10項目の具体的方策に取り組んでいる。

◆御影中学校

生徒自身が進める「全校生徒が楽しく、居心地のよい学校」づくり、朝読書の継続、職場体験の充実などの力をつけるための取り組み等、5項目を行っている。

◆清水中学校

「豊かな心身の育成 豊かな学力の定着 豊かな

産業厚生常任委員会

委員長 森田慎治

調査事項

①高齢者等福祉対策について

②地産地消の状況について

調査先

札幌市・恵庭市

調査の結果

①札幌市から厚別区で唯一の地域包括支援センターとして運営委託されている社会福祉法人栄和会（えいわかい）が設置し



ケアハウスやすらぎにて

ているケアハウスやすらぎを訪問、施設長である須永常務理事より居室サービス事業や施設の概要等の説明を受けた。須

永氏は、「介護報酬等の改正で、施設・事業運営を取り巻く環境が厳しくなっているが、今後ともサービスを低下させることなく、効率的な事業運営に努めていきたい。」と今後の運営について話していた。

②恵庭市にある農業生産法人余湖（よこ）農園を訪問、余湖農園は特別栽培野菜（減農薬・無農薬）を生産している農家集団であること、生産物は有機

質肥料を用いた土で減農薬・無農薬により育てた安全・安心で、こだわりの野菜を消費者に提供していること等の説明を受けた。余湖社長は「有機農産物の認定を受けてしまうと、費用等が価格に上乘せられ、こだわりの野菜を気軽に提供できなくなってしまうので、認定は受けず、志を共にする仲間を増やしネットワークを広げていきたい。」と

の話であった。

閉会中の 委員会活動

総務文教常任委員会

- ①財政健全化の取り組みについて
- ②寄付による投票条例について

産業厚生常任委員会

- ①後期高齢者医療制度について
- ②主要建設工事の進捗状況について
- ③財政健全化の取り組みについて

議会運営委員会

- ①議会の運営とその諸規定について
- ②議長の諮問に関する事項について